

ネットワークプランニング

CS3年 前期(2単位) 月4・5限
荒井+TA 山崎/藤原 @PCO22

◆授業の目的

本授業では、ネットワーク(LAN)の実践的な設計・運用について、実際の演習(NWの設計作図やネットワーク機器シミュレータなどを使用)を交えて学習する。小規模なLANをCisco社ネットワーク機器で構築することを前提。Cisco CCNA/CCENTの基礎部分に相当。

◆前提知識:

「コンピュータネットワーク(2年前期)」「データ通信(2年後期)」の両授業知識を前提

◆教科書:

「Cisco CCNA ICND1テキスト」Gene / 松田千賀著(日経BP社)
必須です。授業内で例題を解いたり、演習問題を宿題にしたりします。

◆評価: 授業内演習課題と定期テストの両方をほぼ同じ重み(予定)で総合評価(出席点なし)

- ・演習課題: 授業内で行う課題の提出や小テストなどで、可能な限り毎回提出。
- ・定期テスト: 知識と応用力を試す筆記式テスト

◆授業の進め方:

PC演習室内で、講義と共に演習を交えて行う。要約プリントのみ配布。

演習では、実機PCやVisioとCiscoシミュレータ(Network Visualizer)を利用(いずれも商品版なので、PC演習室にて自習・復習する必要があります)。

授業資料は復習用にWEBにて公開 <http://www.cs.t-kougei.ac.jp/hif/lecture/nw-plan/>

◆履修にあたって:

- ・積極的に授業に参加すること!
- ・休まない・遅刻をしない!
- ・ノート(メモ)を取る!
- ・復習する!
- ・諦めないで頑張ってください。勿論どんどん質問をしてください。
- ・WEB上に様々な情報が載っていますので、それらも是非参照してください。
- ・覚えるべき知識は正確に覚えてください。

※IPアドレス等において2進数、16進数は必須です。サブネットができない分からない(計算できないなど)では確実に単位は取得できません。

◆資格について

○Cisco CCNA/CCENT; Cisco CCNA/CCENTは、3年間の期限付きで有効な、一企業が実施している資格(国家試験などではない)。Cisco社のネットワーク機器は、多くの企業などで採用している、いわば業界標準といつてもよい機器。CCNA/CCENTはネットワーク運営をする上で、非常に有益となる資格。但し有効期限3年。

○情報処理技術者試験・基本情報技術者試験; 基本情報はプログラム開発を中心とした情報システム開発プロジェクト担当者を対象。システム環境として実践的なネットワーク知識も要求される。

○情報処理技術者試験・ネットワークスペシャリスト試験; 高度IT人材として確立した専門分野をもち、ネットワークに関する固有技術を活用し、最適な情報システム基盤の企画・要件定義・開発・運用・保守において中心的な役割を果たすとともに、固有技術の専門家として、情報システムの企画・要件定義・開発・運用・保守への技術支援を行う者を対象とした(資格)試験。

上記の内、本授業での最大のターゲットはCCNAであるが、残念ながら本授業だけではCCNA全ての範囲と詳細をカバーできない。

●ネットワークの基礎(復習) ※WEB参照

- ・ネットワークとは
- ・TCP/IPとイーサネットは
- ・ネットワーク機器(HUB, Router)とネットワーク構成(トポロジ)

●ネットワーク疎通確認のテスト

コマンドプロンプトから「**ipconfig /all**」コマンド、「**ping**」コマンド